草加市教育委員会会議録

平成30年第11回定例会

平成30年草加市教育委員会第11回定例会

平成30年11月27日(火)午前8時55分から
教育委員会会議室(ぶぎん草加ビル4階)

議 題

第56号議案	教育に関する事務に係る議会提出議案の意見聴取について(平成30年度草加市一般会計補正予算(第3号))
第57号議案	教育に関する事務に係る議会提出議案の意見聴取について(特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について)
第58号議案	平成30年度学校医の委嘱について
第59号議案	草加市いじめ問題調査対策委員会委員の委嘱について
第42号報告	草加市立小中学校通学区域及び就学すべき学校の指定に関する規則の一部を改正する規則の制定に係る専決処理の報告について
第43号報告	職員の人事に係る専決処理の報告について
第44号報告	県費負担教職員の人事に係る専決処理の報告について
第45号報告	平成30年草加市議会第1回臨時会に係る報告について
第46号報告	草加市障害児就学支援委員会の答申に係る報告について
第47号報告	草加市いじめ問題調査対策委員会への諮問に係る専決処理の報告について

出席者

教 育 長	高 木 宏 幸
教育長職務代理者	村 田 悦 一
委 員	小 澤 尚 久
委 員	加 藤 由 美
委 員	宇 田 川 久 美 子

説明員

教育総務部長	今	井	規	雄
教育総務部副部長	本	間	錦	一
教育総務部副部長	青	木	裕	
教育総務部副部長	野	川	雄	一
総務企画課長	伊	藤	寿	夫
学務課長	菅	野	光	三
教育支援室長	奥	村	勇	

事務局

名	倉	毅
山	岸	亮

傍聴人 0人

午前8時55分 開会

開会の宣言

高木宏幸教育長 ただ今から、平成30年教育委員会第11回定例会を開催いたします。

前回会議録の承認

高木宏幸教育長 事務局から前回会議録の朗読をお願いいたします。

———— 前回会議録の朗読 ————

高木宏幸教育長 ただ今、事務局から前回会議録の朗読がありましたが、これにつきましてご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

(「ありません」と言う者あり)

高木宏幸教育長 よろしければ、承認することとし、会議録への署名を行いたいと思います。

教育長・委員の署名

高木宏幸教育長 以上で、前回会議録の承認を終了します。

議案審議

高木宏幸教育長 ただ今から、審議に入らせていただきます。本日は、追加案件も含めまして、議案が4件、報告が6件となっております。

なお、委員さんの中で議題以外の教育全般に係るご質疑、ご意見等ございましたら、委員会終了後に意見交換の時間を設けておりますので、よろしくをお願いいたします。

第56号議案 教育に関する事務に係る議会提出議案の意見聴取について（平成30年度草加市一般会計補正予算（第3号））

高木宏幸教育長 初めに、第56号議案につきまして、総務企画課長より説明させます。

説明員 教育に関する事務に係る議会提出議案の意見聴取について、ご説明申し上げます。

本議案は、平成30年12月市議会定例会に補正予算として議案提出するものであり、教育委員会の意見聴取を行うため、議案として提出したものでございます。

この議案は、歳出歳入補正予算として3事業、継続費補正として1事業、繰越明許費補正と

して2事業を対象としております。

初めに、学校施設維持管理事業（小学校）、同事業の中学校、この2事業につきましては、小中学校32校の教室、廊下における照明器具LED化に向けて事前の調査を実施する費用として、小中学校合わせて2,468万8,000円、次に、図書館情報サービス・管理運営事業につきましては、18年間使用しております中央図書館の空調設備等を全面改修するための設計業務委託費用として、346万8000円を計上するものでございます。

次に、継続費補正についてご説明申し上げます。ただ今申し上げました、中央図書館の空調設備につきましては、平成30、31年度の2か年度にわたり、調査と設計業務を委託し実施することを前提とした事業でありますことから、継続費として補正するものでございます。

続きまして、繰越明許費補正についてでございますが、小中学校の照明器具LED化の調査には、平成31年の2月頃を目安として業務委託契約をし、7月頃を目安とした調査終了まで約6か月間の期間を要する見込みであり、こちらの2事業につきましては、繰越明許費として補正するものでございます。

説明は以上でございます。

高木宏幸教育長 ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

小澤尚久委員 参考資料1ページについて、学校施設維持管理事業のご説明をいただいたのですが、もう少し詳しく教えてください。

また、今のLED化の進捗状況について、どの程度、学校でLED化が進んでいるかということと、三つ目に、今後、具体的に決まるのは、この調査を経てからのことだと思いますが、大体どれぐらいを目途にLED化を進めていこうとしているのか、分かる範囲で教えてください。

説明員 委託内容の具体的なものでございますが、32校を対象に、現在ある校舎内等を中心とした照明器具の設置状況、こちらをまず確認させていただくとともに、照度の測定をさせていただきます。その上で、照明器具のLED化に向けて、使用している器具の確認をとった上で、具体的にどのようなものを設置するか検討させていただき、設計図として起こさせていただきます。そして、それぞれの概算工事の費用を算出させていただきます。最終的に導入した場合にどれだけ費用がかかるかまでを調査させていただく予定でございます。

次に、現状のLED設置状況ですが、典型的な例は、非構造部材を対象とした体育館の工事、改修の際に設置させていただいている状況でございます。校舎内については、あまり

設置されていない状況でございます。

また、今後につきましては、平成31年度に、今申し上げました調査を行い、32年度を目安に実際に設置できるかどうかということになりますが、学校も公共施設の一つでございますので、他の公共施設と歩調を合わせる中で、設置に向けて進めてまいりたいと考えております。

村田悦一教育長職務代理者 関連してですが、あくまで調査だけで小中学校で約2,500万、1校約80万かと思いますが、実際に調査をして、これだけ費用がかかると分かった後に全額予算がつくのか、そうではなくて、調査をした後に、必要な所だけにつけていくのでしょうか。全体でどれくらいの予算が必要になるか、今の段階で分からないから調査をするのかと思うのですが、例えば、栄小学校や松原小学校も、LED化されていないのでしょうか。32校ということですが、新しい学校には、LED化ということが言われていますから、0ということはないと思います。先ほど、体育館の工事、改修の際に、というお話もありましたが、現段階で全く予算が立たないから調査をするのか、この程度の予算で、この程度ならば何か年計画で予定しているとか、現在、どのように考えていて調査をしていくのかお伺いできればと思います。

説明員 現状でございますが、栄小学校、松原小学校につきましては、先行して一部付けている所がございます。他の学校につきましても、照明器具が故障した場合に、LEDの器具を付けられる場合には、既存の器具の中で付けさせていただいている学校もございますので、詳細は把握できておりませんが、一部先行して改修や修繕に合わせて付けている所がございます。

それから、今後の見込みにつきましては、全体の費用を算出した上で、公共施設としてどのように整備していくのかという大きな方針を、今後、総合政策部、市民生活部と打ち合わせる中で取り組んでまいりたいと考えています。

高木宏幸教育長 他にご意見、ご質問はございますか。

それでは、第56号議案につきましては、原案どおり可決することよろしいでしょうか。

(「はい」と言う者あり)

高木宏幸教育長 異議がないようですので、第56号議案については、可決といたします。

第57号議案 教育に関する事務に係る議会提出議案の意見聴取について(特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について)

高木宏幸教育長 次に、第57号議案につきまして、学務課長より説明させます。

説明員 教育に関する事務に係る議会提出議案の意見聴取についてでございます。

平成30年11月7日に行われました草加市特別職報酬等審議会から答申をいただき、今回、特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定につきまして、平成30年12月の市議会定例会に議案を上程するに当たり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、草加市長より意見を求められた本件につきまして、教育委員会の意見を伺うものでございます。

条例の改正内容につきましては、学校運営協議会委員の報酬を加えるものでございます。報酬は年額9,000円でございます。

説明は以上でございます。

高木宏幸教育長 ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

村田悦一教育長職務代理者 コミュニティ・スクールに関わる学校運営協議会委員の報酬ということですが、この9,000円という額について、埼玉県や全国との比較があればになりますが、県内でも、今どんどん進められていて、その中で、市町村によって額は違うかと思いますが、平均はどのくらいでしょうか。

説明員 埼玉県内の他市町の様子を見ますと、かなり差がございます。ただ、平均ということだと、大体8,300円程度ということですが、近隣の八潮市等の金額も考慮しまして、9,000円、平均より少し多い金額で対応させていただいているところでございます。

村田悦一教育長職務代理者 これに関連して、4月の教育委員会定例会の後、コミュニティ・スクールについて説明があり、その際に、草加市の取組として、本年度は検討委員会を組織して、31年度から先行実施で1、2校導入、32年度に全小中学校でコミュニティ・スクールを導入するというご説明をいただきました。今、検討委員会も立ち上げられているわけですが、学校運営協議会委員の報酬も決まっていく中で、現時点でどのように進んでいるのかお伺いします。

説明員 学校のアンケートをとりました結果、小学校で2校、中学校で2校、来年度の先行実施の意向がございました。小学校については、谷塚小学校と青柳小学校の2校、中学校については、草加中学校と両新田中学校、合わせて4校が手を挙げていただきました。

それに伴いまして、草加市学校運営協議会規則を、草加市の実状に合わせて、検討委員会の

中で再度、委員の任期も含めて、どのような形で行っていくかを協議・検討しているところでございます。

村田悦一教育長職務代理者 小中2校ずつ、4校が先行実施校ということで、30年度は準備ということですが、具体的な準備はしていないのでしょうか。その4校の、教育委員会での検討を含めて、具体的に準備したことがあれば教えてください。

説明員 学校からまだ、具体的な状況は伺っておりませんが、来年度に向けた委員の選考については、学校評議員を中心にお話をさせていただきまして、地域の方からどのような方を委員とすることが良いのか、校長先生と考えているところでございます。

今後、進捗状況について、教育委員会と各学校との連絡、連携を密にしながら、来年度に向けての準備を進めているところでございます。

村田悦一教育長職務代理者 最後に、コミュニティ・スクール検討委員会設置要綱の1条にその在り方等を検討するとありましたが、何回検討会が行われて、その中でどんな話が出ているのでしょうか。特に、課題として出ているようなことが話し合われていけば、学校同士でも情報交換をしたほうが良いと思いますが、今、どんなことが話され、どんな課題が出ているのか教えてください。

説明員 大きく二つございまして、一つは、どのような委員を選出すれば良いのかという意見が出ております。いくつも町会が重なっている地区に関して、全ての町会長にお願いをすると数が多くなってしまいます。それでは、どなたに委員を委嘱すればいいのかというところで、校長がしっかりと人選をしなければいけない、あるいは地域の方のご理解を得なければいけないということが一つでございます。

二つ目は、委員の任期についてございまして、現在、学校評議員の任期が1年ごとで3年を限度に行っていますが、あまり長過ぎてしまいますと、その方に気を遣って、なかなか良い意見が出てこないのではないかという意見もございました。そのため、委員の任期は2年程度にして、1回の更新、4年間は委員をお願いできるようにご意見を出していただいているところでございます。

村田悦一教育長職務代理者 過日、久喜市に、我々も視察に行きましたが、学校運営協議会、学校、家庭、地域、それぞれの中で、草加としての課題があって、今二つ、どのような委員をと、任期をどうするかということが上がってきましたが、具体的な課題は出てきていませんか。あるいは、運営していく中で課題を解決していくのか、その辺りは今、担当課としてはどのようにお考えでしょうか。

説明員 私どもとしましては、情報提供はさせていただいておりますが、まだコミュニティ・スクール検討委員会の委員も、学校も、イメージが十分わいていないということがございます。

そのため、来年度1年間、その中で様々な課題を解決していきながら、32年度に全校実施に向けての体制を整えていきたいと考えているところでございます。

村田悦一教育長職務代理者 要望ですが、久喜市も文部科学省などに連絡をして、研修会を行ったりしてみたいです。ですから、今はまだ分からないことがあるということでしたので、分からない中で進めてしまうと、上手くいかないかと思うので、ぜひ小学校2校、中学校2校の手を挙げているところには、文部科学省や県などに来ていただいたりするなど、情報提供も含めて、4月からより良い状態でスタートできるようにお願いしたいと思います。

高木宏幸教育長 他にご意見、ご質問はございますか。

それでは、第57号議案につきましては、原案どおり可決することよろしいでしょうか。

(「はい」と言う者あり)

高木宏幸教育長 異議がないようですので、第57号議案については、可決といたします。

第58号議案 平成30年度学校医の委嘱について

高木宏幸教育長 次に、第58号議案につきまして、学務課長より説明させます。

説明員 平成30年度学校医の委嘱についてでございます。

平成30年度の学校医の委嘱につきましては、平成30年2月7日の第2回教育委員会定例会で承認していただきました。しかし、平成30年10月30日に、草加八潮医師会から瀬崎中学校の学校医であります、石関しのぶ様の交代依頼があり、改めて草加八潮医師会から、瀬崎中学校には金澤周様をご推薦いただきましたので、新たに委嘱しようとするものでございます。

委嘱期間は、議決日から平成31年3月31日までとなります。

説明は以上でございます。

高木宏幸教育長 ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

なければ、第58号議案につきましては、原案どおり可決することよろしいでしょうか。

(「はい」と言う者あり)

高木宏幸教育長 異議がないようですので、第58号議案については、可決といたします。

第42号報告 草加市立小中学校通学区域及び就学すべき学校の指定に関する規則の一部を改正する規則の制定に係る専決処理の報告について

高木宏幸教育長 続きまして、教育長に対する事務委任規則に基づき、専決処理の状況を報告させていただきます。第42号報告につきまして、学務課長より説明させます。

説明員 草加市立小中学校通学区域及び就学すべき学校の指定に関する規則の一部を改正する規制の制定に係る専決処理の報告についてでございます。

草加市立小中学校通学区域及び就学すべき学校の指定に関する規則の一部を改正する規則の、別表に示されております手代町とされている表記を手代一丁目、二丁目、三丁目といたしました。該当するのは、高砂小学校、瀬崎中学校の一部でございます。

なお、この規則は平成30年11月23日から施行されているところでございます。

説明は以上でございます。

高木宏幸教育長 ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

なければ、第42号報告につきましては、承認することよろしいでしょうか。

(「はい」と言う者あり)

高木宏幸教育長 異議がないようですので、第42号報告については、承認といたします。

第43号報告 職員の人事に係る専決処理の報告について

高木宏幸教育長 次に、第43号報告につきまして、総務企画課長より説明させます。

説明員 職員の人事に係る専決処理の報告について、ご説明させていただきます。

この案件でございますが、本来であれば教育委員会の議決を経るべきところでございますが、緊急に処理する必要があり、教育委員会を招集するいとまがないと認め、平成30年11月1日付け職員の人事について専決処理をさせていただきましたので、これをご報告するものでございます。

内容につきましては、休職延長、主任1件でございます。休職期間は平成30年11月30日まででございます。

説明は以上でございます。

高木宏幸教育長 ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

村田悦一教育長職務代理者 職員の個人情報もあると思いますが、一番心配なのは、休職延長が11月30日までで、また病気休暇や休職となってしまうことです。そのことを含めて、分かる範囲で状況を教えてください。

説明員 現状でございますが、先週の月曜日から復職に向けた訓練を行っております。今後、11月30日に受診し、主治医の了解がいただければ、12月1日以降本格復帰に向けて、今、訓練の最中ということで進んでおりますので、休職期間の延長は、これで最後の可能性が出てきている状況でございます。

高木宏幸教育長 他にご意見、ご質問はございますか。

それでは、第43号報告につきましては、原案どおり承認することよろしいでしょうか。

(「はい」と言う者あり)

高木宏幸教育長 異議がないようですので、第43号報告については、承認といたします。

第44号報告 県費負担教職員の人事に係る専決処理の報告について

高木宏幸教育長 次に、第44号報告につきまして、学務課長より説明させます。

説明員 平成30年10月の県費負担教職員の人事について、ご報告いたします。

育児休業が小学校教諭4件でございます。4人とも女性でございます。発令につきましては、欠員補充が小学校教諭46件、小学校養護教諭2件、小学校栄養職員2件、小学校事務職員2件、中学校教諭33件、中学校養護教諭2件、代替につきましては、小学校産休代員4件でございます。

説明は以上でございます。

高木宏幸教育長 ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

村田悦一教育長職務代理者 基本的なことでお伺いしたいのですが、欠員補充という発令がいつも出ていますが、欠員補充とはどのように理解したらいいのでしょうか。

説明員 欠員補充につきましては、学級数や児童生徒数により、定数が決まっております。また、少人数加配等の配置により、正規の教職員を充てられないときに、欠員補充となります。

村田悦一教育長職務代理者 欠員を補充するということは、要するに定数があると思います。定数に満ちていないから、これだけ県費負担教職員を充てているのだと思います。これは草加市だけの問題ではないと思いますが、小学校教諭が46人、中学校教諭が33人、合わせて79人、これは平成30年度の教員の9%で1割に近い教員が、本来であれば正規の職員で充てなくてはならないのに、欠員となっているから、臨時的任用教員を採用し、お力を借りていることになっています。この数、定数内臨任ということが、やはりどこの市町村でも課題になっていて、担任をしたりなど、仕事の内容は正規職員とほとんど同じになっています。このことについて、南部教育事務所との話合いの中で、来年の人事に向けてですが、今どのようにこれを少なくしよう、あるいはどうして少なくなるのかという説明は、人事担当者会議等の中であるのでしょうか。

説明員 できるかぎり定数内の臨任の数を減らそうということとはございます。ただ、退職者の数と新採用教員の配置数が合うわけではございません。

また、小学校でも保留学級があるということもございますので、なかなか正規職員を充てられない場合もございます。ですので、欠員が出てしまうということについては、できるだけ抑えようとしております。草加市につきましても、ここ数年、その割合につきましても、減少しているところでございますが、0となるのは難しいところがございます。

高木宏幸教育長 付け加えですが、定数内の臨任率が非常に高いということは、任命権者である県教育委員会も課題であると考えておりまして、一時は県の定数内臨任率が平均12%から13%でした。定数内臨任は、定数の中で本来、本採用を充てるべきなのに、臨時的任用で充てることであります。その中には、一部止むを得ないものもあります。学級編成は、一人増えると学級が一つ増えることがあり、学級編成が確定できるぎりぎりのところ、保留学級と言っておりますが、そこには本採用は充てることができません。そういった場合に、定数の中ではありますが、臨任を充てざるを得ないことがあります。しかし、それ以外にも定数の中で臨任を充てるところがあり、県ではここ数年、定数内臨任を減らそうと、小中学校の教員の採用は1,300人を超える、この3年間でもずっと1,000人を超えるような採用をしてきています。これは県の初任者研修等のことを考えると、目いっぱいの状態での新採用の人数になっています。

実際、草加市では平成25年は定数内臨任が12%でした。27年が10.7%、今年度が9.2%と、これは明らかに県が大量に新採用をして、定数内臨任を下げていこうという取組の表れであると思っています。

しかしながら、今ご指摘のように、まだまだ9%の定数内臨任がいるということになると、ここに産休、育休、病休の方が出てくると、ここには臨任しか充てられませんので、そういった方々を含めると、かなりの割合の臨時的任用の教職員がいるのも事実です。これが大きな課題にはなっていますが、これは引き続き、毎年8月に、次年度の教育施策と予算の要求として、市町村教育委員会連合会、都市教育長協議会と、町村教育長会の三つの団体で県に要望をしています。同時に私たちも、臨任者の研修を充実させながら、指導力を少しでも高めていく努力をしていかなければいけないと思っております。一気に定数内臨任を激減させるところまでは達していませんが、今のような取組をしているということでご理解いただければと思います。他にご意見、ご質問はございますか。

それでは、第44号報告につきましては、承認することよろしいでしょうか。

(「はい」と言う者あり)

高木宏幸教育長 異議がないようですので、第44号報告については、承認といたします。

第45号報告 平成30年草加市議会第1回臨時会に係る報告について

高木宏幸教育長 続きまして、事務の管理及び執行の状況を報告させていただきます。

第45号報告につきましては、総務企画課長より説明させます。

説明員 平成30年草加市議会第1回臨時会について、その概要をご報告申し上げます。

第1回臨時会でございますが、平成30年11月2日に開会され、議案は2件でございます。その内訳につきましては、議員提出議案1件、同意1件でございます。

議長及び副議長の選挙が行われており、その内容でございますが、議長につきましては、草加新政の関一幸議員、副議長は、同じく草加新政の白石孝雄議員が選出されております。その他の常任委員会の委員の選任につきましては、総務文教委員会を始め、ご覧のとおりとなっております。

また、市長から、監査委員の選任につき同意を求めることへの議案が提出され、監査委員につきましては、無所属の松井優美子議員が同意されております。

次に、議員提出議案についてでございます。その内容につきましては、草加市議会運営委員会の定数に関するものでございまして、定数10人を8人とするものでございます。

説明は以上でございます。

高木宏幸教育長 ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいた

します。

小澤尚久委員 議会運営委員会の10人を8人とということですが、どのような経緯があったのか、分かる範囲で結構で教えてください。

高木宏幸教育長 教育総務部長。

説明員 これは、議員提出議案でございまして、提案理由の説明の中では、諸般の事情によるものと伺っております。

高木宏幸教育長 他にご意見、ご質問はございますか。なければ、次の報告に移ります。

第46号報告 草加市障害児就学支援委員会の答申に係る報告について

高木宏幸教育長 次に、第46号報告につきまして、教育支援室長より説明させます。

説明員 草加市障害児就学支援委員会の答申に係る報告をさせていただきます。

1 1月6日に実施いたしました第5回草加市障害児就学支援委員会の審議の結果を受けての報告でございます。

初めに、諮問事項(1)、障がいがあると思われる児童生徒のうち、通級による指導を含む特別な教育措置が必要と思われる児童生徒に対する障がいの種類の判断、障がいの程度の判断及び就学に係る教育的支援について報告させていただきます。

特別な教育措置1、調査依頼人数、実施人数は、小学校在籍児童12人、中学校在籍生徒2人でございます。次に、2、障がいの種類の判断でございます。障がい種を判断できるほどの課題は見られないが3人、知的障害が4人、情緒障害等が7人でございます。続きまして、3、障がいの程度の判断及び就学に係る教育的支援でございます。障がい種を判断できるほどの課題は見られないの中では、通常学級で観察指導することが望ましいが1人、市教育支援室等の支援を受けながら通常学級で指導することが望ましいが2人との判断でございました。知的障害の中では、知的障害特別支援学級で指導することが望ましいが4人ございました。情緒障害等の中では、通級指導教室での指導を受けながら通常学級で指導することが望ましいが2人、自閉症・情緒障害特別支援学級で指導することが望ましいが5人ございました。

次に、特別な教育措置2、通級によることば・きこえの指導の判断結果でございます。今回の調査依頼人数、調査実施人数は1人でございます。言葉に障がいがあると思われる児童でございます。障がいの種類の判断は、構音障害でございます。教育的支援につきましては、通級指導教室で言葉の指導をすることが望ましいでございました。

続きまして、諮問事項(2)障がいがあると思われる就学予定児のうち、通級による指導を含む特別な教育措置が必要と思われる就学予定児に対する障がいの種類の判断、障がいの程度の判断及び就学に係る教育的支援について報告させていただきます。

今回の調査依頼人数、実施人数は19人で行いました。障がいの種類の判断は、障がい種を判断できるほどの課題は見られないが2人、知的障害が2人、情緒障害等が15人で行います。教育的支援につきましては、障がい種を判断できるほどの課題は見られないの中では、通常学級で観察指導することが望ましいが2人で行いました。知的障害の中では、知的障害特別支援学級で指導することが望ましいが2人で行いました。情緒障害等の中では、市教育支援室等の支援を受けながら通常学級で指導することが望ましいとの判断が3人、通級指導教室での指導を受けながら通常学級で指導することが望ましいが5人、自閉症・情緒障害特別支援学級で指導することが望ましいが7人で行いました。

説明は以上でございます。

高木宏幸教育長 ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

小澤尚久委員 この数字のことではないのですが、来年就学予定の子どもたちが、各小学校で就学時健康診断を受けたと思いますが、その就学時健康診断の中で、この子どもは支援したほうが良いのではないかとということが上がってきた後、どのような流れになってくるのか詳しくお聞かせください。

説明員 今のところ、学校から上がってきた数は、全体で134人いて、その中で、教育支援室で相談済みが既に52人いますので、未相談者は82人です。今、その82人に、順番にご家庭に連絡いたしまして、検査の状況や結果などを伝えまして、相談に来られるかをお伺いしています。

その後、相談に来ていただける方には、そこから就学相談を始めまして、早ければ1月の判断ということになります。そのような形で、今は各家庭に電話連絡をしているところでございます。

小澤尚久委員 82の方がこれからということで、ハードなスケジュールになり、ますます教育支援室の先生方も大変になってくると思います。その中で、うちの子は大丈夫ですと理解を得られない場合もあると思いますが、そういったことは今までどれくらいありましたか。また、その場合について、どのように対応されているのか、分かる範囲でお聞かせいただきたいと思います。

説明員 やはり新しい場面、新しい場所でのことなので、子どもたちが緊張から本来の力を出せなかったというケースはかなり多いです。保護者の方々もそのような認識の方が多く、実際のところ、この中から相談にかかるのは毎年10人もいません。

ただ、大丈夫ですと答えた保護者の方々も、教育支援室からの連絡があったということで、そのことが心に残っていれば、将来お困りの際には、スムーズに相談等ができると思っておりますので、無駄なことではないと思っております。

村田悦一教育長職務代理者 今のことに関連して、82人ということで、今の説明では緊張があるということでしたが、就学時健康診断が時間で限られているために、子どもたちのペースではなくて、学校側のペースで急いでしまうということがあると思います。これは教育支援室ではなくて、学務課が担当ですので、就学時健康診断の際にしっかりと配慮していたら、保護者の方々にとっては、もっと子どもたちのことが分かったのではないかと感じてしまいます。保護者の方々からすると、教育支援室から電話が来て、子どものことで相談したいと言うと、驚いてしまうと思います。就学時健康診断が終わりましたが、学校との連携はどのようになっていますか。教育委員会が学校にお願いをして実施しているので、本来であれば、市でしっかりとした場所があれば、学校で実施する必要がないわけです。入学前に学校に入ることができて良いと思いますが、もし、学校に任せきりで、学校側も忙しい中で、ただ消化するということになってしまうと、良くないと思います。また、就学時健康診断の反省なども踏まえて、特に問題がないか、あるいは、こういうことがあったので来年度については、このように改善していきたいと、教育支援室と学務課で連携しながら進めていってほしいと思います。

高木宏幸教育長 学務課長、今年の就学時健康診断の状況はいかがでしたか。

説明員 その場で緊張感からなかなか力を発揮できない場合がありますということは、初めの説明の中で、学務課から説明させていただいております。保護者の方々には、そのようなときには、教育支援室から連絡がいきますが、気軽に子どもの様子をお話してくださいということで話をしています。

また、学校におきましては、就学時健康診断の結果のもと、幼保小の連携もございまして、幼保小の連絡協議会の中で話題に出していただいたり、近隣であれば、幼稚園との交流の中でその子どもを見て、入学する子どもがどのような状況なのか、もし何か課題があれば、幼稚園、保育園、又は学校から投げかけて、子どもの様子で気になることがございますということで、情報提供、あるいは相談をしてくださいようお願いをしているところでございます。

小澤尚久委員 今、課長からもあったように、前段階の幼稚園や保育園との情報共有はとても大事かと思えます。守秘義務があって難しい部分もあるとは思いますが、そういう点で連携が進んでいって、情報がより共有されていくと、その子どもにとってもより良いスムーズな就学が期待できると思うので、これからも、幼保小中の連携について進めていっていただければありがたいと思えます。よろしくお願いします。

加藤由美委員 先日も少しお話をさせていただいたのですが、相談をしたいという方がお電話を入れたときに、相談することが1か月先、2か月先ということを知っています。2か月先まで待っている間に状況も変わってきてしまいますし、今すぐ相談したいのにという方がたくさんいらっしゃると思うのですが、その受け皿ができていないのは、考えていかなくはないのかと思うので、いろいろな先生方の事情もあるかと思えますが、ぜひ対策を考えていただきたいと思えます。よろしくお願いします。

高木宏幸教育長 今の加藤委員からのご指摘については、現状はどうなっていますか。

説明員 相談件数が非常に増えておりまして、確かに新規の相談が1か月先、2か月先になってしまうことがあります。教育支援室として、重要な課題の中の一つだと認識しております。

もう少し新規の相談を短い間隔でできるように、将来的には臨床心理士を増やしていくことを考えておりますが、現状では、教育支援室の中で工夫をして、新規の方が相談しやすい環境をつくっていきたく思っております。

高木宏幸教育長 就学相談については、これまでもいろいろ説明をいただき、委員の皆様からもいろいろご意見をいただいていることについては、早め早めの対応や幼保小の連携、関係機関との連携によって、今のような新規の相談も短い期間の中でできるかと思えますので、工夫をしていただくようお願いします。

加藤由美委員 学校を休んで相談に行くより、学校が終わってから相談に行きたいという方が多いみたいで、例えば、学校を休んで相談に行った場合は、欠席になってしまうのですか。

説明員 校長の判断になるかと思えますが、教育委員会の施設ですので、各学校において、欠席とならないようご配慮いただけるかと思えます。

加藤由美委員 それをご存じであれば、欠席扱いにならないので、平日の午前中に行ってみようかと思う方もいらっしゃると思いました。

高木宏幸教育長 他にご意見、ご質問はございますか。なければ、次の案件に移ります。

第 5 9 号議案 草加市いじめ問題調査対策委員会委員の委嘱について

第 4 7 号報告 草加市いじめ問題調査対策委員会への諮問に係る専決処理の報告
について

高木宏幸教育長 次に、本日追加提出いたしました案件に入りたいと思います。第 5 9 号議案及び第 4 7 号報告を議題といたします。この二つの案件は相互に関連しておりまして、また、個人情報に関わります事柄でございますので、秘密会として審議したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「はい」と言う者あり)

高木宏幸教育長 それでは、第 5 9 号議案及び第 4 7 号報告につきましては、秘密会とさせていただきます。説明の方のみお残りいただき、説明者以外は、ご退席をお願いいたします。

————— 執行部退席 —————

(秘 密 会)

————— 執行部着席 —————

高木宏幸教育長 審議を再開いたします。審議結果について報告させていただきます。

第 5 9 号議案につきましては、可決いたしました。また、第 4 7 号報告につきましては、承認されました。

高木宏幸教育長 続きまして、その他の報告がございましたらお願いします。

教育総務部長 特に用意ございません。

高木宏幸教育長 その他の報告がないようでしたら、次回の教育委員会の日程について、事務局からお願いします。

教育総務部長 次回の教育委員会の日程でございますが、平成 3 0 年第 1 2 回定例会を 1 2 月 2 6 日水曜日、時間は午後 1 時から、場所はこちら、教育委員会会議室でお願いしたいと存じます。

また、当日は定例会に先立ちまして、平成30年度第2回草加市総合教育会議を開催いたします。時間は午前10時から、場所は本庁舎5階、第1・第2会議室になっております。お昼を挟みましての会議でございますが、どうぞよろしくご出席くださいますようお願いいたします。

閉会の宣言

高木宏幸教育長 それでは、以上をもちまして本日の委員会を終了いたします。

午前10時2分 閉会